



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 ソースネクスト株式会社

コード番号 4344 URL <http://www.sourcenext.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 憲幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役アドミニストレーショングループ担当常務執行役員 (氏名) 青山 文彦

TEL 03-6430-6406

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	5,380	16.9	1,230	20.2	1,237	20.4	834	△14.0
27年3月期第3四半期	4,602	4.3	1,023	2.2	1,027	4.6	970	△7.3

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 835百万円 (△14.4%) 27年3月期第3四半期 975百万円 (△6.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	26.30	—
27年3月期第3四半期	30.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	5,961	4,749	4,749	79.0	79.0	148.48
27年3月期	5,044	4,022	4,022	79.2	79.2	126.77

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 4,711百万円 27年3月期 3,997百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	3.83	3.83
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	4.28	4.28

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,889	13.1	1,399	7.4	1,406	7.2	905	△25.5	28.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	31,732,000 株	27年3月期	31,732,000 株
28年3月期3Q	6 株	27年3月期	6 株
28年3月期3Q	31,731,994 株	27年3月期3Q	31,731,994 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、実質消費支出が3ヵ月連続で減少するなど弱い動きはあるものの、総じて緩やかな回復基調で推移しております。

当社グループを取り巻く環境におきましては、平成27年7月にリリースされたMicrosoft社の新OS「Windows 10」が平成28年1月時点で全世界2億台を突破しました。普及速度は「Windows 7」の2.4倍で、Windows史上最速と言われており、今後も「Windows 10」端末は増える見込みです（平成28年1月、米Microsoft社発表による）。また、平成27年9月末の携帯電話契約数は1億5,289万件（前期比+0.9%、前年同期比+5.1%）、MVNOサービスの契約数（移動系通信の契約数の内数）は、1,063万件（前期比+6.7%、前年同期比+26.4%）となり、いずれも堅調に推移しております（平成27年12月、総務省：電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表より）。

こうした状況の中、当社グループは、新規ユーザーの獲得とマーケットの拡大を背景とした、スマートフォン向けアプリ及びパソコンソフトの積極的な拡充に取り組んで参りました。

当第3四半期会計期間では、年賀状シーズン到来に向けて、「筆王 Ver. 20」の拡販を積極的に推し進めました。また、当社の主力製品である「ウイルスセキュリティZERO」「スーパーセキュリティZERO」の「Windows 10」への有効OS拡張・機能追加版が売上に大きく寄与いたしました。さらには、国内主要キャリアや格安スマホ・SIM関連事業者へのアプリ提供や、人気のスマホアプリ「超便利ツールズ」の自社著作権化など、知的財産権の取得にも力を入れて取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は53億80百万円(前期比16.9%増)となり、営業利益は12億30百万円(前期比20.2%増)、経常利益は12億37百万円(前期比20.4%増)となり、第3四半期連結累計期間における営業利益、経常利益は、3年連続で過去最高益となりました。また、同期間の経常利益率も過去最高の23.0%（前期比：0.7ポイント増）となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は、繰越欠損金に係る繰延税金資産が減少したため、8億34百万円（前期比14.0%減）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであります。各販売チャネルの営業概況は以下の通りです。

イ) スマートフォン通信事業者（キャリア）

当チャネルでは、国内主要3キャリアが提供する定額アプリ使い放題サービスへのコンテンツ提供及び販売に注力して参りました。

「auスマートパス」では、当社の提供する「筆王2016 Select版」が、「auスマートパス ベストアプリ 2015」の特別賞を受賞しました。提供アプリは、「筆王」を始め、合計23アプリ（前年同期：20アプリ）となりました。

「App Pass」は、合計24アプリ（前年同期：14アプリ）となりました。

「スゴ得コンテンツ」は「おしゃべり翻訳機」「Relax Melodies プレミアム:睡眠&ヨガ」「どこでも家計簿WEB」を提供し、合計5サイト22アプリ（前年同期：5サイト13アプリ）となりました。

上記の結果、売上高は9億22百万円(前期比53.7%増)となりました。

ロ) 自社オンラインショップ

当チャネルでは、当社のウェブサイト併設された「ソースネクストeSHOP」で、ソフトウェア及びパソコン関連機器を中心としたハードウェア等の販売を行っております。

パソコンソフトは、セキュリティを始めとする主力製品の「Windows10対応保証版」やアップグレード版の拡販に努めたことで、順調に販売本数を増やしました。

その他、「筆王 Ver. 20」が昨年よりも好調に推移したことに加え、新作の「さよなら手書き3」が好評を博しました。

上記の結果、売上高は、26億97百万円（前期比33.5%増）となりました。

ハ) 家電量販店及び他社ECサイト

当チャネルでは、主に家電量販店及び他社ECサイトにおいて、個人ユーザー向けのパソコンソフト等の販売を行っております。

セキュリティソフトは、「Windows 10対応版」拡販を進め、堅調に推移しました。

「筆王 Ver. 20」は例年に比べ店頭市場での立ち上がりが遅く、厳しい状況となりましたが、SONYの高機能映像編集ソフト「Vegas」シリーズや「Dropbox」、「MFクラウド会計」を始めとする新作16タイトルを次々に販売開始しました。

上記の結果、売上高は、16億11百万円（前期比12.7%減）となりました。

ニ) その他

主に格安スマホやSIM関連事業者などの企業や教育機関、官公庁などの法人向けに、パソコンソフトやアプリの使い放題サービスやライセンスの販売を行ないました。その他の売上高は1億48百万円（前期比10.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ、9億16百万円増加し、59億61百万円となりました。流動資産は7億83百万円増加し45億88百万円、固定資産は1億32百万円増加し13億72百万円となりました。

流動資産の増加の主な要因は、売掛金の増加5億61百万円、現金及び預金の増加3億39百万円によるものであります。固定資産の増加の主な要因は、平成28年6月以降に予定している本社移転に伴う敷金の増加2億5百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比べ、1億89百万円増加し、12億11百万円となりました。流動負債は1億96百万円増加し11億71百万円、固定負債は6百万円減少し40百万円となりました。

流動負債の増加の主な要因は買掛金の増加91百万円、未払法人税の増加85百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ、7億26百万円増加し、47億49百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益8億34百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、平成27年5月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表への組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,778,758	2,118,400
売掛金	919,199	1,480,948
有価証券	499,931	499,942
商品及び製品	82,904	153,616
原材料及び貯蔵品	32,791	26,822
前渡金	115,484	153,199
繰延税金資産	288,897	69,048
その他	87,190	86,827
流動資産合計	3,805,157	4,588,805
固定資産		
有形固定資産		
有形固定資産	194,363	211,918
減価償却累計額	△172,162	△182,990
有形固定資産合計	22,200	28,927
無形固定資産		
ソフトウェア	848,065	840,433
その他	118,920	65,581
無形固定資産合計	966,985	906,014
投資その他の資産		
投資有価証券	109,530	110,790
繰延税金資産	92,372	86,557
その他	50,319	241,903
貸倒引当金	△1,800	△1,800
投資その他の資産合計	250,422	437,450
固定資産合計	1,239,608	1,372,392
資産合計	5,044,766	5,961,197
負債の部		
流動負債		
買掛金	259,290	350,355
未払金	341,326	398,158
未払法人税等	59,464	145,151
賞与引当金	14,044	10,022
返品調整引当金	55,026	45,738
アフターサービス引当金	20,362	20,588
その他	225,288	201,194
流動負債合計	974,803	1,171,208
固定負債		
その他	47,302	40,591
固定負債合計	47,302	40,591
負債合計	1,022,106	1,211,800

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,771,226	1,771,226
資本剰余金	1,611,226	1,611,226
利益剰余金	609,822	1,322,824
自己株式	△1	△1
株主資本合計	3,992,274	4,705,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	116	959
為替換算調整勘定	5,337	5,308
その他の包括利益累計額合計	5,453	6,267
新株予約権	24,932	37,852
純資産合計	4,022,659	4,749,397
負債純資産合計	5,044,766	5,961,197

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	4,602,176	5,380,640
売上原価	1,199,954	1,483,951
売上総利益	3,402,221	3,896,688
返品調整引当金繰入額	61,607	45,738
返品調整引当金戻入額	55,306	55,026
差引売上総利益	3,395,920	3,905,977
販売費及び一般管理費	2,372,570	2,675,916
営業利益	1,023,349	1,230,060
営業外収益		
受取利息	181	1,100
受取配当金	160	160
債務勘定整理益	5,095	-
還付消費税等	1,921	-
開発費負担金受入額	4,374	5,903
その他	669	118
営業外収益合計	12,403	7,282
営業外費用		
支払利息	872	-
為替差損	6,690	109
その他	324	-
営業外費用合計	7,887	109
経常利益	1,027,865	1,237,234
特別利益		
新株予約権戻入益	-	341
特別利益合計	-	341
特別損失		
前渡金評価損	2,591	197
特別損失合計	2,591	197
税金等調整前四半期純利益	1,025,273	1,237,378
法人税、住民税及び事業税	84,308	177,596
法人税等調整額	△29,936	225,246
法人税等合計	54,371	402,842
四半期純利益	970,901	834,535
親会社株主に帰属する四半期純利益	970,901	834,535

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	970,901	834,535
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,404	842
為替換算調整勘定	3,334	△28
その他の包括利益合計	4,739	814
四半期包括利益	975,641	835,349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	975,641	835,349
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ソフトウェアの企画・開発・販売及びその他のサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。